



# 校報 水糸者

No. 857

29年度・第30号

運動会シリーズ・パート2

赤もよくやった、白もよくやった

## 泣いた白組

…今年の運動会でも、やっぱり涙が流れました…

今年度の運動会でも、子ども達は涙を流しました。  
予行練習の悔しさを果たす事ができなかった無念の涙や全力を出し切った涙、友の温かさやありがたさに気づいた涙…。それぞれの涙の意味には違いがありましたが、どの涙にも真剣に取り組んだ子どもでなければ流せない涙でした。



### 閉会式の子も達



得点発表を祈りながら待っていた白組の子ども達。結果は、残念ながら予行練習に続いて赤組の勝利。呆然とした様子の白組応援リーダーと堪えきれずに泣き始めた白組の子ども達。

### 閉会式後の応援団陣地の様子



閉会式後、今までの練習や取組みへの感謝と御礼を述べる赤白の団長達。しかし、白組団長は涙が溢れ、言葉になりません…



### 戦い終えた子ども達は…



この2週間、親友と正々堂々と最後まで戦った子ども達は、運動会が終わるとまたいつもと同じ、仲良し種小っ子に戻ります。普段から心がつながっているから、真剣に戦い合えるのですね。この笑顔が『ノーサイド』の証拠です。

## 《子ども達の感想（要旨）》

今日は優勝したけど、ちょっと白組もかわいそうです。白組もいっぱいがんばっていたのに…。でも白組もくじけないで 一生懸命に頑張っていました。〈中学年男児〉

「優勝は赤です」といわれた時、小学校で勝ったことのない私に、勝利の女神が微笑んでくれました。最後ぐらい…、最後ぐらい…と思いながら成績発表を待ちました。15点差ながら勝ててすごく嬉しいです。そして、泣いちゃいました。これからは、赤と白に関係なく、みんなと協力して「最強クラス」の一員でありたいです。〈高学年女児〉

よさこいがかっこよくできたし、声の本気を出す事ができて楽しかったし、赤組が勝ってよかったです。うれしいです。〈はまなす男児〉

今日は緊張していた運動会でした。組体操のサボテンでは練習の時には失敗が多かったが、本番では成功できました。この成功は、練習してきた中で友達とのコミュニケーションがとれるようになったからだと思います。次の人間起こしは失敗してしまうと思っていたが、先生が黒板に書いていたことを思い出して、絶対に成功してやると思ってやったら見事成功できました。全ての結果で赤組の勝ちでした。このうれしきは絶対に忘れません。 〈高学年男児〉

28日の運動会では、応援を一番頑張りました。応援団なので6年生や5年生がいない間、団長の机にのぼって応援をしました。心臓が飛び出そうくらいドキドキしました。でも、白組が優勝するには応援が必要だし、応援団だからこそ前に立たないといけないと思い決心して深呼吸をしてやっと前に立つことができました。その時、自分の殻を1枚破ることができたかなあと思いました。跳びはねたくなるほどうれしかったです。 〈中学年男児〉



無駄な努力こそ無駄じゃない。

無駄な努力は無駄じゃない。

違う。

ほら五十と百は全然ちがう

なんて嘘だ。

「やってもやらなくても…」

諦めないで。

「どおせ五十歩百歩だ。」なんて

ナカムラ ミツル

五十歩百歩

友と共に泣き合った後は、全力を出し切った満足感や友への信頼感、感謝でいっぱいになり、笑顔の花が咲きました。この笑顔は、「全力」を尽くした人しかできない輝いた笑顔です。勝った白組も、敗れた赤組も笑顔で記念撮影。明日からは、赤も白もなく、また心を1つにして、がんばって行くのが「種小っ子」です！団結して心を1つにして戦いぬいた赤白両軍は最高のチームになっていました。6年生の皆さんご苦労様でした。君たちが流した涙はお客さんや下級生の心の奥まで届いていますよ。

いくら努力をしても、できない時や負けてしまう時がよくあるものです。だからといってやる前から努力や切磋琢磨をしない種小っ子には、これからもなほほしくないものです。

今回の運動会では、本番で100%の力を発揮するために、練習を120%の力で頑張りを続けた子ども達。これからの学校生活につながる、かけがえのない大きな事をしっかりと学んだ種小っ子でした。